

信頼して呉れる丈、より以上私共は大きな責任があります、大切な生命を預つて居ることだからどんな安心な状態に子供があらましても保母は常に緊張して自分の命にかへてもといふ覺悟を持つて懸らねばなりませんと思ひます。

昭和三年 七月

こ の 春

○岡山では吉備保育會の愈々研究的なのを喜んだ。その講習會で廣島の中村氏に會つて、廣島縣保育會の新らしい話を聞いた。予は此の兩保育會の主盟によつて、中國聯合保育大會の一日も早く行はれんことを吉備保育會の國當保育會長初め幹部の人々と中村氏とに切にすゝめた。會には四國方面の人々も澤山見えてゐた。近く實現せられなければならぬ中國大會には、海を跨いで四國も亦、重要な加盟者でなければならぬ。また、北の山を貫いて、山陰道の諸君も是非加はつて貰ひ度い。九州の諸君も來り參するに相違ない。そうしたら中國大會といふよりも西日本保育聯合大會といふことになる

か。予は愛藏の日本保育地圖を胸に擴げながら、想像の色鉛筆でいろ／＼に彩どつて見た。
○仙臺では縣の兒童保護講習の間に、短い時間を盗んで、但し盗まれる方も賛成で、幼稚園と託児所の諸君に、宮城縣保育會の創設を促した。機は熟してゐた。橋本、村松兩女史等の熱心があつた、その席で直ぐ準備委員が極まつて、着々と計畫を進められた。(五月十九日には創立總會が宮城幼稚園で舉げられる筈になつてゐる)予はまた日本保育地圖を胸の中にひろげた。そして、歴史をもつ福島縣保育會と新進の宮城縣保育會とを主盟とする東北聯合保育大會を彩つて見た。色鉛筆をどこまで北進

倉 橋 生

させるべきであらうか。北海道。樺太。またしても色鉛筆のゆくへは廣がる。
○和歌山では、早い櫻と菜の花とにうつりきれながらも、市保育會を中心とする縣保育會への發展を語らずにはゐられなかつた。水田課長、中村團長等の熱心は、予を俟たずして豫て動いてゐた。暖い南海は熟する事が早くなければならぬ。予の色鉛筆は此の自然の色の美しい地方を、更にどんな強烈な彩りに彩らうか。――斯くて美しい此の春は終つた。この夏には帝國教育會の教育大會の保育部が開かれる。この秋には朝鮮の教育大會の保育部が開かれる。共に太い色鉛筆で全日本を廣く一つ色に塗る大きな愉快な彩色だ。